

ガバナー



月信

奇大徳の道



3

March 2018
Vol.9

Governor's Monthly Letter

国際ロータリー第2630地区
2017-2018年度
ガバナー 田山雅敏



伊賀上野・城下町のおひなさん (2018年2月17日(土)～2018年3月3日(土) 伊賀市上野本町通り周辺)

Contents

- 第2630地区 ガバナーメッセージ …… 2
「『水と衛生月間』によせて」
- 青少年交換部門委員長 …… 3
「青少年交換事業について」
- 国際協議会報告 …… 4
- グローバル・グラント タイ国視察旅行 …… 5
- 会員増強研修セミナー開催報告 …… 6
- 新会員研修セミナーを終えて …… 7
- ノルウェーでの一年について …… 8
- 出席報告 …… 10
- 会員動静報告 …… 11

Rotary



ロータリー:
変化をもたらす

第2630地区のHPは
スマートフォンでも
ご覧いただけます





「水と衛生月間」によせて

2017-2018年度
国際ロータリー第2630地区ガバナー

田山 雅敏

各クラブの会長、幹事様はじめ関係者の皆様には新年早々より会員増強セミナーにご出席頂き有難うございました。会員増強委員会の皆様、そして各ガバナー補佐の皆様の多大なるご尽力にて新しい形での会員増強セミナーを成功裡に開催することができました。また、県別開催ということで2回に亘り主催者の皆様は大変でしたが、肌目細かいセミナーを行うことができました。村橋カウンセラーには二度に亘りご講演を賜り誠にありがとうございました。これからの時代に当を得た内容で会員増強に多くのヒントを頂きました。堀場アドバイザーよりの「熱意と情熱」に尽きるとの会員増強の大先輩のお言葉で締めくくらせて頂き有難うございました。私の年度も後半に入りましたが、今後のクラブの在り方をご検討頂き、その目標を達成していくには会員増強が必要であることがよく理解して頂けることと思います。新しい仲間の獲得にご尽力賜り、将来を見据えたクラブ作りに邁進して下さい。

今月は「水と衛生月間」です。この目標はロータリーの6つの重点分野の一つであることを皆さんご存知のことと思います。本地区に於いては豊富な水資源を持ち、日頃は「水と衛生」と言われても当たり前のように清潔な水に接している私達は「水と衛生」と言う部分では世界で最も恵まれた地区の一つだと思います。「水や衛生」が十分でないところは世界にはまだまだ沢山あります。本地区からもグローバル補助金を使って水の浄化装置を寄贈することも実現しつつあります。井戸水を掘る事業に対しての要請も多くの地域より要望されています。水は人間が生きてゆく上で最低不可欠なものです。しかし衛生となるとやはりある程度衣食住と言う部分が足りてということになります。これが疾病、特に伝染病的視点になると少し事情が変わってきます。しかし、基本的に衛生状況が良ければ疾病現象は減っていくと考えられます。水があれば

がいもできるし手洗いもできます。多くの菌を遠ざけることが可能となります。この中にはロータリーができる多くのことがあります。水の有効利用、浄水、衛生への教育、衛生環境の改善等々、今月は我々豊かな水資源に囲まれている2630地区ロータリアンが「水と衛生」についてお考え頂きたく存じます。そして各クラブで何か地域の為、また世界の為に立ち上がって頂く契機となればとても素晴らしい月間となることでしょう。

水のもう一つの効能は、適度の水分補給は我々を病から遠ざけることにあります。この時期適度の水分補給で喉の粘膜を潤すことはウイルスの侵入を防いでくれます。また、人間の身体は常に水分の補給が不可欠な構造となっています。多くの方は無意識に水を摂取していると思いますが、ひとたび水が枯渇すると大変なこととなります。話は変わりますが、一昔前、日本は「水と安全はタダの国」と言われたことがあります。安全は防衛まで含むたとえでしたが、今、安全を得るにはコストがかかるようになりました。水はどうでしょうか。ペットボトルの水を飲むようになったのはここ十年位でしょうか。以前よりも日本人も神経質になったかもしれません。私は水道水が飲用できる日本を誇りに思っています。水道水をそのまま飲める国はそうはありません。かく言う私も使い勝手の面が良いので今は水のペットボトルをよく愛用しています。家庭ではそのまま水道水を愛飲しています。街の薬局で売っている医薬品のドリンクは日本のきれいな水を更に浄化した精製水を用いています。そしてそのドリンクのビンに中身を充填する前にビンの洗浄をするのにも同じく精製水を使っています。更に念のために多くの製品は充填後滅菌までしている超衛生的な水を用いた商品であることを皆様ご存知でしょうか。

今月はここで筆を置かせて頂きます。



青少年交換事業 について

青少年交換委員会委員長

永尾 壽啓



青少年交換事業は、多感な思春期の高校生を派遣し、同時に受入れるという重大な責務を背負い、また国際ロータリーの真の目的である国際社会に通じる新世代を育てるという事業を実施しております。最近のインバウンド・アウトバウンド実績としては、2017-18年度は派遣学生5名（女）、夏期受入学生5名（男：2、女：3）、春期受入学生3名（男）の合計13名です。また次年度の派遣候補生は5名（女）です。男女比率は受入学生の場合は男女半々の割合ですが、派遣学生の場合は女性の割合が高くなってきています。派遣国としては、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、フランス、ノルウェー、カナダ等となっています。

委員会の活動内容は下記に示すように、学生だけをターゲットにした事業を行うのだけでなく、派遣候補生の場合であれば保護者の方への出国までの準備、心構えの指導と不安事項の解決、受入学生の場合であればホストファミリーの方々の悩みや受入クラブのカウンセラーや委員長の情報交換の場として委員会を利用して頂いております。具体的な活動としては、

1. ガバナー、ガバナーエレクト、地区カウンセラー、地区アドバイザーを含めた月1回の青少年交換委員会の実施
2. 派遣学生と受入学生の合同による、月1回のオリエンテーションの実施
3. 派遣学生とご家族向けの渡航手続き説明会の実施
4. ホストクラブの青少年奉仕委員長、クラブカウンセラー、ホストファミリーと委員会メンバーによる意見交換会の実施
5. 受入学生と帰国学生（ROTEX）による、「夏期研修旅行（長崎または広島方面）」実施

6. 派遣学生と受入学生の合同による、「日本の伝統文化と美を知る 作陶体験」の実施
7. 多地区（長野2600：山梨・静岡2620：岐阜・三重2630：愛知2760）合同による「青少年交換白馬スキーの集い」の参加
8. 派遣学生と受入学生の合同による、「日本の伝統文化と心を知る 座禅体験」の実施 等々です。

話は変わりますが、この青少年交換事業における長期留学制度の有意義性をよく理解し賛同はしてはいるが、実際に子供を長期留学させるとなると高校を留年したり、大学受験で出遅れることを心配されて応募することを躊躇されているロータリアンの方々に次の報告をしたいと思います。以前は長期留学すると、留年を覚悟する必要がありましたが、現在は私立、公立の一部で留年することなく次学年に進級できる『進級留学』を認めている高校があります。（高校の同意と条件が整うことが必要です。また認められていない場合もあります。例えば屈指の進学校、出国時の学年が3年生の場合など）また大学入学にとってもこの長期留学が大きな優位点となっています。世界に羽ばたける若者の育成を目指すという国の施策も相まって高校生時代に1年間の海外留学をして勉学に励んできたという実績を武器に、国立・私立大学の『AO入試』で留学実績や会話力を訴求し希望する大学の入学を勝ち取った学生たちがいます。『進級留学』と『AO入試』を上手く活用することで子どもの将来を大きく羽ばたかせることが更に可能となってきています。

時代の変化に伴い、いろんなことが変わってきております。ロータリアンの皆様には、青少年交換事業という素晴らしい事業を理解して頂き、活用して頂けることをお願いする次第です。

ガバナーエレクト 木村 静之

2018年国際協議会は、2018年1月14日～19日、米カリフォルニア州サンディエゴで開催されました。世界537地区（日本34地区）のガバナーエレクトとパートナーが出席し、6日間で本会議9回（同時通訳付き）、分科会（日本人研修リーダーによる）、ロータリートーク、リーダーとの対話、RI会長エレクトとの夕食会・写真撮影、パートナーが主体となる文化交流などが行われました。

2018-19年度RI会長バリー・ラシン（Barry Rassin）さん（バハマ）が発表したテーマは、



インスピレーションになろう “Be The Inspiration”

というものです。…私たちは、前向きな変化を生み出し、私たちが今日直面する課題に勇気と希望、そして創造性をもって正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すための「インスピレーション」となる必要があるのですと呼びかけました。

また、次のようなロータリーの新しいビジョン声明も発表されました。

ロータリーのビジョン声明

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

さらにラシンさんは、最重要課題であるポリオ撲滅への進展、そして環境の持続可能性について、私たちに熱く語りました。



記念撮影



分科会



晚餐舞踏会

奉仕プロジェクト部門国際奉仕小委員会委員長

篠原 一行

昨年早々より3330地区との水の浄化プロジェクト事業を検討して参りました。それに向けて4月には3330地区の地区大会に宮崎奉仕プロジェクト委員長と一緒に出席して交流を深め、5月末頃にロータリー財団（TRF）に提出する申請書を作り上げ署名を頂き提出いたしました。その後TRFから5回程詳細な指摘を受けて修正を重ね、修正申請書を昨年12月にTRF本部審議部門へ提出し、1月早々にプロジェクトの承認が下りました。財団本部の東南アジア担当のCathleenさんからCongratulation! のメールを頂いた時にはとても感激しました。

そして先日、2月2日から5日まで、劔田PDG・高井アドバイザー・勝川委員・服部あゆみさん・私の5名で3330地区タイ国クラビ市へ訪問しました。バンコクから乗り継いで1時間20分程でクラビ国際空港へ。搭乗出口では大きく立派に作られた横断幕をもって、Krabi RC・Leung Krabi RC・Aoi Krabi RC、3RCメンバー30名程の盛大な出迎えを受けました。

午前中にはBanklonghin 小学校訪問、子供たち先生たち100名程が花道をつくって、両国の国旗を振って笑顔で「ありがとう」と、そんな花道を通して教室へ、3RCメンバーや学校関係者、そして子供たちの代表を交えてセレモニー、手作りの食べ物や飲み物の差し入れもありました。終わりには当委員会が用意した教材や文房具やスポーツ用品を贈呈しました。そして水の浄化プロジェクト設備の見学をして、学校のホールで子供たちのジャズバンドでの演奏を聴きながら皆で食事をしました。



空港出迎え



Banklonghin小学校

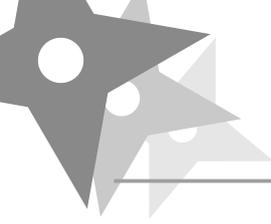
午後にはもう一つの学校Baan Kao Klom小学校訪問し、同じような歓迎を受けました。午前中の学校訪問と同じようにセレモニー、そして当委員会の用意した教材や文房具やスポーツ用品を贈呈しました。

夜には3RCとのディナーパーティ、バナー交換やお土産交換して親睦を更に深めました。翌日の空港にも大勢のメンバーに見送りに来て頂いて、4月の3330地区の地区大会での再会を約束して、名残惜しくわかれてきました。

GGは相手クラブとのお互いの信頼関係をもつての進行が一番大切です。しっかりとニーズを調査して、内容を吟味して素晴らしい国際奉仕活動にしていくことが必要です。GGは相手クラブも30%は出さなくてはなりません。6つの重点分野であって、システムの構築や修理維持管理や衛生管理、ランニングコストをどうするのか、地域の方々にも恩恵が受けられているか等々、そして定期的に報告書も義務付けられています。今回のランニングコストに関しては自動販売器方式で地域の方々にも販売して可能にしています。そのためにあえて門の近くにプロジェクト施設を造って地域の方々にも開放していきます。

プライマリーコンタクトとして申請書提出から承認まで携わり、衛生面での諸々の難しさ、衛生管理指導者プログラムの重要性、機械システムの処理能力や完成度の高さ、問題点のテンプレート作成の難しさ等、大変勉強になりました。

翌日のバンコクでは、識字率向上に関するCLEプロジェクトに詳しい3350地区の



セレモニー

Kasemchai PDGにお会いして、次のGGの打ち合わせもしてきました。当委員会メンバーの3RCが援助国側RCとしてできるように検討していく予定です。

今回の訪問を通して、GGの素晴らしさを改めて感じました。相手クラブと一緒にあって共に未来のために苦勞して事業を進めること、そして現地の方々が心から喜んで頂く姿にとっても感動しました。ちょっと良い気分になること、色々

な人に出会うこと語り合うこと、そして楽しく旅行をしていくことなど大切なことだと思います。色々な方々にお世話になり本当にありがとうございました。

地区のみなさん、世界には私たちの支援を待っている人々が大勢います。皆さんの愛情を世界に発信してください。地区国際奉仕がお手伝いいたします。



文房具スポーツ用品贈呈

2017年～2018年度会員純増3%を目指す！

会員増強研修セミナー 三重県開催及び岐阜県開催報告

国際ロータリー第2630地区会員増強部門委員会委員長 山本 和央

希望に満ちた2018年（つちのえ戌）の新年を迎え、皆様には健やかなお正月をお過ごしになられたこととお慶び申し上げます。

会員皆様には新しい年の経済環境、市場環境2つの視点から立ち位置を確認し、景気回復の行方、そして攻めと守りの工夫をしながら景気回復の年となりますことを願っています。

新年早々、会員増強研修セミナーは、三重県開催（1月13日・土曜日・ホテルグリーンパーク津にて）、岐阜県開催（1月20日・土曜日・岐阜グランドホテルにて）を県単位ごとに開催いたしました。

地区内76クラブの会長・幹事・会員増強委員長並びに特別出席者（田山雅敏ガバナー始め、岡田信春地区研修リーダー、村橋元カウンセラー・辻正敏ガバナーノミニ、中井代表幹事、各グループのガバナー補佐の方々、地区役員の皆さん）が参加され、村橋元カウンセラーによる講演「演題：会員増強に関して」をはじめ、各グループのガバナー補佐の皆さんが主軸になりグループ別分科会が開かれました。

会員増強部門委員会では、アンケート調査を実施（2017年12月）しながら、そのデータを基に、参考にしながら、会員の減少に頭を抱えているクラブが多い中、失敗例・成功例などをヒントにし、有意義な意見交換をしていただきました。また、多くのことに気づきこの1年の会員増強の目標、純増3%に力強い応援を得た一日でした。

セミナーを締めくくべく分科会の報告が、各グループのガバナー補佐の皆様による1人5分間の総括報告で本セミナーを終えました。

長時間にわたる本研修セミナーにご参加協力をいただきました皆様方、そしてクラブ方々への労をねぎらい感謝の意を表します。

国際ロータリー第2630地区新会員研修セミナーを終えて

国際ロータリー第2630地区会員増強部門委員会委員長 山本 和央

去る、2月12日(月)名鉄グランドホテルに於いて、田山ガバナー年度の地区役員27名・新会員(3年未満対象者220名)総勢247名が参加し、「新会員研修セミナー」が開催されました。

はじめに、田山雅敏ガバナーより、会員増強及び会員の維持・組織強化の重要性に鑑み、魅力あるロータリーを作るためには、新会員の皆さんによる組織強化の方策を考えるための一助となるよう、本日のセミナーを役立ててほしいとのご挨拶と、「変化するロータリーを考える」と題して、基調講演をいただきました。

木村静之ガバナーエレクトからは、去る1月14日から米国カリフォルニア州サンディエゴにて国際協議会に出席された概要のご挨拶がありました。



また地区情報委員会丸尾謙二委員長より「ロータリー情報について」エンジョイ・ロータリーのお話を拝聴致しながら、ロータリーに対する熱い思いと心からの言葉がセミナー参加者の皆様に伝わったと思います。

その後、新会員による、各グループを代表して12名の皆様より1名4分間のスピーチ「標題：入会后、ロータリーについて関心を持ったこと。」が発表されました。そして、発表後は絶賛された温かい拍手が送られました。続いて岡田地区研修リーダーによる講評をいただき、会員増強部門委員会堀場巖アドバイザーによる閉会の挨拶によってセミナーを終了いたしました。

ご出席された、各グループ代表12名の弁士の皆様、そしてご参加いただきました新会員の皆様方、誠にありがとうございました。

特別出席者のみなさん。(田山雅敏ガバナー・木村静之ガバナーエレクト・地区研修委員会委員長 剣田廣喜直前ガバナー・岡田信春地区研修リーダー・村橋元カウンセラー・各グループガバナー補佐各位・地区研修委員会委員各位・地区情報委員会丸尾謙二委員長・会員増強部門委員会委員各位そして事務局員の皆様には、今後とも引き続きご指導ご協力いただけますことをお願い申し上げます。ありがとうございました。



ノルウェーでの一年について

岐阜長良川ロータリークラブ 早川 華音



私が派遣されたキルケネスは、北極点からおおよそ400キロしか離れていません。8月3日に到着したのは夜の8時でしたが空はまだ明るくて驚いたのを覚えています。本当に日本と全然違うところに来たんだと実感しました。

来たばかりの頃、私のノルウェー語は日本で覚えたフレーズが二つ三つ言える程度で、話すどころか単語も全然知りませんでした。学校が始まるまでは、買った教科書を使ったりしてホストファミリーに基礎から教わっていました。8月末に学校が始まってからは、移民や他の留学生がいる、ノルウェー語ビギナーの授業で勉強していました。学校は始まってすぐの頃は何もわからず、友達にもまだ聞くことができず戸惑うことばかりでとても辛かったです。でもだんだん友達が増えるにつれ、移動のときは教えてもらったり尋ねることができるようになって、それからは快適に学校生活を送ることができました。先生も友達もいつも親切にしてくれました。学校の友達となかなかノルウェー語で会話をするのができなかったのが悔しかったところです。ノルウェー語は、文法や単語は英語と似ているところがあります。しかし、名詞に女性名詞・男性名詞・中性名詞の三種類があり、さらに名詞の複数形に変形があるので、英語にも日本語にもないことは覚えるのに時間かかりました。また、母音が9つあるのでそれらの聞き分けと発音も難しかったです。

9月に初めてロータリーの派遣留学生たちと会う機会がありました。彼らはアメリカ、ドイツ、ブラジル、コロンビア、メキシコ、アルゼンチン、カナダ、台湾から来ていました。大多数はアメリカから来ている留学生で、早くてスラングの多いネイティブの英語を理解することが難しかったのが印象的でした。来た時期はほとんど同じにも関わらず、ノルウェー語を沢山話せていた人がいて、尊敬すると同時にもっと頑張らないといけないと思いました。このロータリーの旅行ではノルウェーについて学ぶほか、カヌーやハイキングなどアクティビティな

どもありとても楽しかったです。

キルケネスは10月頃にはもう冬のように寒くて、コートやブーツが必須になりました。11月にはマイナス12度ほどになり湖も凍って、水面に氷が張って歩けるくらいになり、さすが極北と思いワクワクしました。クリスマスが近づくにつれて日がどんどん短くなって昼間も暗いほどになると、ほとんどの家がイルミネーションやライトの飾りを飾っていて、街中が綺麗でした。いよいよ年に一度の大きな行事の一つであるクリスマスが近づくと、店にクリスマス関連の商品がたくさん出ていたり、クリスマスマーケットが行われたりして、人々が極夜の最中でも楽しそうにしていました。家の中に大きなツリーを飾りつけるのが子供の頃以来でなんだか懐かしかったです。クリスマス当日には家族や友人が集まってお祝いをしていて、ノルウェーらしい暖かいひと時でした。でも、それに比べて新年のお祝いはあまり大きくなく、カウントダウンのときに花火がたくさん上がっていたのは綺麗でしたが、三日から学校が通常どおりありました。日本と文化の違いで面白いなあと思いました。

2月には2度目のロータリーの旅行がありました。このときはスキー旅行ということで、初めてクロスカントリースキーに挑戦しました。初めは進むこともままならず何度も転びなかなか進めなかったのですが、だんだん慣れてくると坂道も登れるようになりました。クロスカントリーはずっと動き続けるので、たくさん汗をかきました。外の気温は寒くても体が温くなるのでそれを調節するために服装を選ばなければいけないのも難しかったです。暑い国から来た一部の留学生たちは、寒いものにもスキーにも慣れていないようで、より大変そうにしていました。日本で見たことがなかったリフトがいくつああって、棒みたいなのに掴まって登っていくものや、背もたれのないリフトもあって、慣れてないし落ちそうだと思って怖がりながら使っていました。最終日には10キロのクロスカントリーに挑戦しました。初めは長いなあと思っていたけど、やった後には以外と早く終わったと感じました。1週間の旅行中ほとんどずっとスキーをしていて、疲れたけれどとても楽しかったです。

3月にもロータリーで旅行がありました。スキージャンプの大会の観戦が主な行事でした。スキージャンプの大会には日本人選手も4人出場していて、日本の旗を持って応援することができて楽しかったです。ホストファミリーや友達から、私が実況のテレビ番組に写っていたよと連絡してくれました。観戦の他にも、オスロ

の街の観光や博物館の見学などもしました。オスロはキルケネスに比べたら暖かく、同じ国だけどやはり縦に長くて気候が違うんだなあと思いました。それは少し日本に似ています。

4月には10日頃イースター休みがありました。その休暇の間に、ベルゲンにいる愛知からの交換学生の美未香さんのホストファミリーから招待して頂きました。美未香さんとは白馬でのスキー研修でノルウェー派遣学生同士として知り合いました。ベルゲンの街を観光したり、買い物をしたり、一緒に夕飯を作ったりしてとても楽しく過ごすことができました。美未香さんの学校の友人たちにも何人か会って話すことができました。実際に会話してみると、キルケネスとベルゲンのノルウェー語はだいぶ違って、理解できないところも多くありました。ノルウェーの方言の多さはとても興味深いです。

5月17日はノルウェーの国立記念日で、多くの人が伝統衣装であるブナドを着て街の中でパレードをしていました。私とホストファミリーは小学校の周りで行われる子供中心のパレードに参加しました。小さな子供も伝統衣装を着ていて、楽器の演奏なども行われて、賑やかで楽しかったです。テレビでは、オスロの街の中心で行われる国立記念日のパレードの様子が中継されていて、華やかで美しかったです。国民の全員がこの日を楽しんでいて、国としての一体感を強く感じた1日でした。

6月に入ってすぐ、ノルウェーツアーに行きました。オスロからトロンヘイムまで、10日かけてバスで移動していくツアーでした。サイクリングやアスレチック、ハイキングなど様々なアクティビティが計画されていて、大いに楽しむことができました。アクティビティの一つにラフティングという、6人乗りのエアボートに乗って川を下るものがありました。途中までは同じボートの人たちと協力して順調に下って行っていたのですが、一番大きい急流で落ちて、私一人完全にボートから離れてしまいました。練習を事前に行っていたおかげで無事助けられることができましたが、一瞬水の中に沈んだときはとても焦りました。他の留学生たちもとても驚いて、流されている写真を撮ってくれました。結果的には面白い経験になったと思います。その他にもノルウェーの観光地をたくさん見学し、留学生たちもたくさん交流できました。この旅行がロータリー派遣学生で集まる最後の機会だったので、最終日にはみんな涙ながらに別れました。会った回数は数えるほどでしたが、同じ状況にいる仲間としていろいろな気持ちを共有したり意見を交換できたりして、貴重な時間を一緒に過ごせました。

これらのようなロータリーの旅行だけでなく、ホストファミリーとの旅行、学校での行事や日常生活の中で考えたことがたくさんあります。ノルウェーで1年暮らして、日本のいいところも悪いところもたくさん見えました。

一番感じたのは、ノルウェーは社会体制がしっかりしているということです。世界幸福度ランキング(国連より)において、ノルウェーは毎年上位に入っており、今年は1位になりました。教育は義務教育に限らず、高校や大学も学費はほとんどかからず、医療費でも妊婦から出産までは無料だったり、社会福祉が非常にしっかりしています。日本では買わなければならない教科書も、学校や図書館から借りて使用することが多いです。日本では子供を育てたくても、たくさん問題があつてつい躊躇してしましますが、ノルウェーでは社会が支えてくれているのです。その代わり税金は高いですが、生活に必要な多くの部分が福祉で補強されていることは、日本にはない、生きていく上での大きな魅力だと思います。

ノルウェー語はスウェーデン語、デンマーク語と同じジャンルの言語で、とても似ています。テレビではノルウェーの番組は多くはなく、英語音声ノルウェー語字幕の番組のほか、スウェーデン語音声にノルウェー語字幕など、複数の言語が使われています。日常会話でも、ノルウェー語での会話の途中に急に英語の単語・文章が入ってきたり、図書室にも英語に限らず様々な言語で書かれた本が多数置いてありました。このように、多言語習得に向けた環境であり、特に英語は教育の開始も小学校1年生から本格的に行われていて、12歳のホストシスターはすでに英語をかなり話せていてコミュニケーションに不足ないほどでした。

留学すると決めた2年前から、私はたくさんこのことを学びました。楽しかったこと、驚いたこと、つらかったことや悲しかったこと、そして、まだまだ知らないことがたくさんあるということを知りました。世界中の留学生の中で、おそらく私は1番北にいたと思います。小さくてきれいな町キルケネスで、たくさん優しいノルウェー人に(時にノルウェー人以外にも)支えられました。ロータリーのメンバーの方々もいろいろなところに連れて行ってくれ、見守ってくれていました。

1年という長く短い留学生生活を、青少年交換留学の一員として無事終えることができたことを誇りに思います。長良川ロータリークラブ、2630地区国際ロータリーの皆様、そして私のもうひとつの故郷になった、キルケネスのロータリークラブに深く感謝いたします。

国際ロータリー 第2630地区 出席報告

2018年1月31日現在

グループ	ク ラ ブ	出席率	例回数	期末	会 員 数			
					期首	月末	うち女性	増減
岐 阜 A	岐 阜	85.57	3	85	85	88	1	3
	岐 阜 西	80.96	3	54	54	53	0	-1
	岐阜長良川	92.12	4	53	53	50	0	-3
	岐 阜 北	90.91	4	30	30	33	2	3
	岐 阜 中	76.58	4	27	27	27	1	0
	グループ計(5)	85.23		249	249	251	4	2
岐 阜 B	岐 阜 南	78.29	3	101	101	101	8	0
	岐 阜 東	77.54	4	50	50	50	1	0
	岐阜東南	78.38	3	36	36	37	0	1
	岐阜加納	85.31	3	68	68	71	2	3
	岐阜エトス	67.32	3	17	17	19	2	2
	岐 阜 城	100.00	4	14	14	15	0	1
グループ計(6)	81.14		286	286	293	13	7	
岐 阜 西 濃	大 垣	79.42	4	84	84	87	0	3
	大 垣 西	90.64	4	78	78	80	0	2
	本 巢	91.46	4	28	28	31	0	3
	羽 島	83.39	4	28	28	28	3	0
	不 破	84.91	3	36	36	34	0	-2
	大 垣 中	83.84	3	39	39	40	0	1
	大垣センチュリー	76.00	3	49	49	51	1	2
	岐阜淡墨	95.56	3	14	14	15	1	1
	岐阜サンリバー	92.59	3	18	18	20	4	2
	グループ計(9)	86.42		374	374	386	9	12
岐 阜 東 濃	多 治 見	84.44	4	50	50	52	3	2
	中 津 川	89.85	4	73	73	74	2	1
	瑞 浪	96.43	3	56	56	56	0	0
	恵 那	83.15	4	35	35	49	1	14
	土 岐	95.12	3	41	41	41	1	0
	多治見西	79.50	2	36	36	36	4	0
	中津川センター	83.88	3	45	45	48	1	3
	多治見パーサイド	86.58	4	38	38	41	1	3
	グループ計(8)	87.37		374	374	397	13	23
東 海 北 陸 道	美 濃	78.45	4	30	30	29	0	-1
	各 務 原	65.54	4	23	23	25	0	2
	関	93.88	3	44	44	49	2	5
	郡上八幡	91.00	3	39	39	39	0	0
	関 中 央	83.91	3	32	32	31	0	-1
	郡上長良川	63.57	4	30	30	32	6	2
	各務原中央	56.67	3	27	27	27	3	0
	各務原かかみの	80.00	4	10	10	10	2	0
	グループ計(8)	76.61		235	235	242	13	7
	濃 飛	高 山	87.03	3	39	39	40	0
下 呂		77.28	2	21	21	22	0	1
高 山 西		86.25	4	39	39	40	0	1
美濃加茂		86.86	3	32	32	33	4	1
可 児		82.14	2	29	29	28	0	-1
可 茂		84.27	3	10	10	9	2	-1
高山中央		82.14	3	59	59	56	4	-3
グループ計(7)		83.71		229	229	228	10	-1
岐阜県合計(43)	83.46		1747	1747	1797	62	50	

グループ	ク ラ ブ	出席率	例回数	期末	会 員 数			
					期首	月末	うち女性	増減
桑 員	桑 名	95.34	3	41	41	43	0	2
	桑 名 西	82.86	4	35	35	35	0	0
	桑名中央	86.60	3	27	27	29	2	2
	桑 名 北	97.14	3	34	34	35	11	1
	グループ計(4)	90.49		137	137	142	13	5
四 日 市	四 日 市	98.07	3	91	91	98	0	7
	四日市北	81.65	4	21	21	21	5	0
	四日市西	94.78	4	67	67	67	4	0
	四日市南	81.48	3	33	33	38	3	5
	四日市東	100.00	3	40	40	39	1	-1
	グループ計(5)	91.20		252	252	263	13	11
鈴 鹿 亀 山	鈴 鹿	83.05	4	62	62	63	8	1
	鈴 鹿 西	63.13	3	42	42	43	8	1
	鈴鹿ベイ	75.00	2	12	12	12	0	0
	亀 山	69.11	3	15	15	15	0	0
	鈴鹿シティ	81.25	4	62	62	64	4	2
グループ計(5)	74.31		193	193	197	20	4	
中 勢 ・ 伊 賀	津	92.55	4	58	58	67	0	9
	上 野	96.71	4	36	36	42	1	6
	名 張	90.41	4	34	34	37	1	3
	津 南	91.67	4	48	48	48	1	0
	津 北	85.45	3	40	40	41	3	1
	上 野 東	100.00	3	34	34	39	3	5
	久 居	89.33	3	25	25	28	1	3
	名張中央	85.30	3	24	24	23	1	-1
グループ計(8)	91.43		299	299	325	11	26	
松 阪 ・ 東 紀 州	松 阪	88.22	4	75	75	78	0	3
	松 阪 東	81.92	3	57	57	59	11	2
	熊 野	67.36	4	35	35	36	5	1
	尾 鷲	50.00	4	12	12	11	2	-1
	松阪山桜	76.32	3	38	38	38	4	0
	グループ計(5)	72.77		217	217	222	22	5
伊 勢 ・ 鳥 羽 ・ 志 摩	伊 勢	88.66	4	59	59	60	0	1
	鳥 羽	77.94	4	32	32	33	4	1
	伊 勢 南	94.34	3	41	41	43	0	2
	志 摩	75.23	4	47	47	48	11	1
	伊勢中央	94.91	3	48	48	48	0	0
	伊勢度会	100.00	4	14	14	15	4	1
	グループ計(6)	88.51		241	241	247	19	6
三重県合計(33)	85.33		1339	1339	1396	98	57	
地区合計(76)	84.27		3086	3086	3193	160	107	

2017年1月(前年度)出席報告

	出席率	期 首	月 末	うち女性	増 減
岐阜県合計(44)	85.75	1,731	1,777	53	46
三重県合計(33)	88.53	1,347	1,362	89	15
地区合計(77)	86.94	3,078	3,139	142	61

〈注〉グループ、県、地区の出席率は全てクラブ数で計算した。

会員動静報告 (敬称略)

Governor's Monthly Letter 2018 March Vol.9

2018年1月分

入会会員

 瀬尾貴政 2018.1.15入会 税理士	 松野貴志 2018.1.15入会 調剤薬局	 棚瀬友啓 2018.1.13入会 薬剤師	 佐藤広幸 2018.1.31入会 電話事業	 黒川達也 2018.1.16入会 地方金融	 細井 浩 2018.1.16入会 貯蓄ぎんこう	 加藤 勝 2018.1.9入会 携帯電気工事	 田辺敦啓 2018.1.9入会 ライフコンシェルジュ	 名里貴志 2018.1.9入会 土木工事	 服部浩二 2018.1.10入会 物流
 浜村弘司 2018.1.24入会 総合建設業	 森 喜代造 2018.1.23入会 行政書士	 草深利浩 2018.1.10入会 菓子製造	 西出 誠 2018.1.10入会 看板工事	 森 直樹 2018.1.10入会 消毒業	 山野文照 2018.1.10入会 保育園	 西口和成 2018.1.11入会 農業	 山川富喜子 2018.1.7入会 家具製造販売	 中村泰広 2018.1.10入会 金属鑄造業	 加藤亮太 2018.1.9入会 薬剤師

退会会員

所属クラブ	氏名	性別	退会年月日
岐阜RC	横地 剛	男	2018.1.30
岐阜西RC	塩谷 義憲	男	2018.1.31
岐阜東南RC	瀬上 達彌	男	2018.1.31
羽島RC	島田 光雄	男	2018.1.31
可茂RC	道田 智子	女	2018.1.31
四日市RC	永田 勝巳	男	2018.1.31
四日市西RC	服部 幸男	男	2018.1.5

逝去会員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

 尾関尚司 1973.8.31入会 2018.1.21逝去 1992～93年度会長 米山功労者 マルチプル・PFH	 野原 宏 2015.1.10再入会 2018.1.27逝去 2007～08年度岐阜A分区かけ一補佐 2002～03年度会長 米山功労者 ホーリスフェロー・マルチプルフェロー	 安藤 宏 2006.1.8入会 2018.1.8逝去 米山功労者
---	---	---

月信2月号お詫びと訂正

逝去会員の葛谷さん（岐阜東南RC）の氏名の表記、クラブ名、入会年月日に誤りがありました。右記の通りお詫びして訂正させていただきます。

岐阜東南RC

葛谷重雄
1974.8.28入会
2017.12.28逝去
1982～83年度会長
創立会員
ベネファクター
マルチプル・ホーリスフェロー
第3回米山功労者マルチプル



「伊賀焼」で作られたおひなさん（史跡旧崇広堂）

資料提供・お問合せ ☎0595-22-9670 伊賀上野・城下町のおひなさん実行委員会（伊賀市観光戦略課 平日のみ）

【表紙写真】

「伊賀上野・城下町のおひなさん」

「伊賀上野・城下町のおひなさん」は、「観る」「食べる」「体験する」の3つのテーマで開催をします。中心市街地の上野本町通り周辺の町家や商店などに新旧さまざまなおひな人形を飾り、今年は、史跡旧崇広堂を会場に伝統的工芸品の「伊賀焼」「伊賀くみひも」で作られたおひなさんの作品を約200点展示します。ほかにも「食べる」では、ゆったりとお茶で一服しながらの雛見茶会、飲食店・和菓子店でのひな祭りをテーマにしたランチメニューやお菓子の販売などがあります。「体験する」では、毎年人気の「こどもなりきりおひなさま」やおひなさんの製作体験・クイズ&スタンプラリーのほか、「伊賀ぶらり体験博覧会 いがぶら」がおひなさん期間限定で「ひなぶら」として開催します（いがぶら公式WEBサイト <http://igakanko.net/> で要予約）。

おひなさんを見るだけでは終わらない楽しい企画が盛りだくさんです。

活動報告

亀山ロータリークラブ 亀山大市に於いてポリオ撲滅募金活動

三重県北勢名物「亀山大市」が2018年1月27日から28日に開催されました。

「亀山大市」は100年以上も伝統的に続き、旧正月用品の謝恩売り出しから始まったとされています。当日は、寒い一日となりましたが、商店街は歩行者天国となり各種イベントが開催されました。

当クラブは、亀山市と青森県五所川原市が「災害協定」を締結している関係で2014年から五所川原市の物産品(リンゴ・シジミ・リンゴジュース)の販売を行っています。今年は、五所川原市職員も二名来市され一緒に販売しました。また、「わた菓子作り体験」コーナーを設け、亀山高校インターアクトクラブと共にポリオ撲滅のための募金活動を行いました。

そして、ポリオパネル「ポリオのない世界まであと少し」「世界でよいことをしよう」を掲示することによって、一般市民の方に亀山ロータリークラブの啓蒙活動を知っていただくよい機会となり、それが新入会員の増強に繋がることと期待しています。



～この街と生きていく地域の皆さまと～

皆さまと一緒に この街を元気にしたい それが信用金庫の願いです



北伊勢上野信用金庫

本部：四日市市安島二丁目2番3号 ☎059-354-1611(代)
http://www.kitaseueno-shinkin.jp/

ご当地
きゃらくた一通帳
好評受付中!



北伊勢上野信用金庫は、地域行事を応援しています



ジュニアバレーボール大会

2017-2018年度 地区事務所・ガバナー事務所 案内

地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail branch@rid2630.org	執務時間 9:30～17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー事務所 地区大会事務局	〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内57-4 センタービル3F TEL 0595-41-2631 FAX 0595-41-2632 E-mail 1718@rid2630.org ホームページ https://www.rid2630iga.org	執務時間 9:30～16:00 (土・日・祝日 休務)